



広野みかんクラブ空手道部に所属する佐藤心春さん（いわき市・中央台北中3年）が、5月に東京都で行われた『J K F カデット・ジュニア&U-21（形）ナショナルチーム選考大会』の女子組手61kg級で優勝を果たし、世界大会出場を決めました。その功績を称

え、7月1日（水）、広野町中央体育館で表彰式が行われ、小松町長から表彰状などが贈られました。佐藤さんは10月にポーランドで行われる世界大会に出場する予定しており、「日本代表の自覚を持ち、優勝を目指して頑張りたい！」と抱負を語りました。

上▶表彰式に出席したみかんクラブ空手道部の皆さん
下▶世界大会に向けて練習に励む佐藤心春さん（右）

7.1 [水] 広野みかんクラブ空手道部・佐藤心春さんが全国大会優勝



広野町と広野町議会が合同で、国や東京電力に対して要望活動を行いました。復興庁では、小松町長が瀬戸隆一（たかかず）副大臣に要望書を手渡し、広野火力発電所の存続や町内の教育環境の整備、復興財源の確保などを要望しました。国土交通省では、加藤竜祥（りゅうしょう）政務官に

対して、朝夕で慢性化している国道6号の渋滞緩和や相双地区といわき市を結ぶ新たな道路整備などを要望しました。東京電力に対しては、広野火力発電所における発電事業の継続に向けた支援などを強く求めました。

上▶復興庁の瀬戸副大臣に要望書を手交
下▶加藤政務官に要望内容を説明する小松町長

7.13 [月] → 7.14 [火] 広野町と広野町議会が合同要望活動を実施

Jヴィレッジをメイン会場に、令和8年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）男子サッカー競技が開催されました。福島県での固定開催となり今年で3回目を迎えましたが、期間中は全国から多数のチーム・選手、大会関係者や来場者が訪れ、会場は多

くの人で賑わいました。7月25日（土）には、広野町のJヴィレッジスタジアムで開会式が行われ、小松町長が開会地を代表して歓迎の言葉を述べました。当日はサッカー日本代表の森保一監督もサプライズで登場し、出場選手たちを激励しました。

7.25 [土] → 8.1 [日] インターハイ2026 男子サッカー競技大会が開催



上▶全国の舞台で熱戦を繰り広げた選手たち

左▶歓迎の言葉を述べる小松町長
右▶選手たちを激励した森保監督



アートディレクターの山崎晴太郎さん（セイトロウデザイン代表）のアート作品の除幕式が広野町役場で行われました。山崎さんは復興支援の一環として、自身が制作した彫刻作品『未来からの化石SOI "Nike AIR JORDANI"』を広野町に貸与されました。作品

はナイキのスニーカーをモチーフに、アクリル製のロゴマーク以外は砂で制作されています。除幕式で山崎さんは、「アートを通じて福島復興に寄り添う取り組みをしていきたい。」と語りました。作品は役場1階ロビーに展示されていますので、ぜひご覧ください。

上▶アート作品の思いを語る山崎晴太郎さん
下▶役場1階ロビーに展示されたアート作品

7.7 [火] 山崎晴太郎さんのアート作品展示

